

2015年 8月 浜松聖書集会のご案内

(時間：午前10時～正午)

- 8月 2日 (日) 集会 (コンgressセンター 45号室)
司会：溝口 春江 感話：岡村 順
聖書講話：ヨハネによる福音書 4章16～30節
「イエスとサマリヤの女(2) —この山でもなくエルサレムでもなく」 水戸 潔
- 8月 9日 (日) 集会 (アクト研修交流センター403号室)
司会：小林 静子 感話：水戸 潔
聖書講話：ルカによる福音書 7章36～50節
「赦されることの少ない者は、愛することも少ない」 永井 徹
- 8月 23日 (日) 集会 (アクト研修交流センター403号室)
司会：相原 夏江 感話：武井 めぐみ
聖書講話：コリント信徒への手紙 I 4章1～21節
「わたしたちは弱いが、あなたがたは強い」 武井 陽一
- 8月 30日 (日) 集会 (アクト研修交流センター403号室)
司会：水戸 潔 感話：榎本 潤
聖書講話：イザヤ書 30章1節～3節
「イザヤ書の中心課題」 平井 国雄

... 通 信 ...

◇日本の曲がり角

今年8月は戦後70年の節目を迎えます。同時にいま日本は大きく戦争のできる国に方向転換しようとしています。昨年7月政府は閣議決定という手段を使って、憲法で認められない「集団的自衛権の行使容認」を決定し、1年後の7月16日これを実際に行えるようにする法案(新安保法案)を衆議院で強行採決し、現在参議院で審議されています。この法案が成立すると、戦後70年間戦争をせずに来た日本が、海外に行って戦争をする国になってしまいます。これが御心にかなった選択であるかどうか、敗戦70年の8月、心を澄まして祈り御声を聞きましょう。

◇敗戦記念日講演会のお知らせ

日 時：8月15日(土) 14時～16時 場 所：浜松市地域情報センター

演 題：「集団的自衛権で日本を滅ぼしてもいいのか」

講 師：半田 滋(東京新聞編集員)

主 催：浜松・憲法九条の会

マルコ福音書10章42～45節

イエスは彼らを呼び寄せて言われた、「あなたがたの知っているとおりに、異邦人の支配者と見られている人々は、その民を治め、また偉い人たちは、その民の上に権力をふるっている。しかし、あなたがたの間では、そうであってはならない。かえって、あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、仕える人となり、あなたがたの間でかしらになりたいと思う者は、すべての人の僕とならねばならない。

人の子がきたのも、仕えられるためではなく、仕えるためであり、また多くの人のあがないとして、自分の命を与えるためである」。

2015年 8月 浜松聖書集会のご案内

(時間：午前10時～正午)

- 8月 2日 (日) 集会 (コンgressセンター 45号室)
司会：溝口 春江 感話：岡村 順
聖書講話：ヨハネによる福音書 4章16～30節
「イエスとサマリヤの女(2) —この山でもなくエルサレムでもなく」 水戸 潔
- 8月 9日 (日) 集会 (アクト研修交流センター403号室)
司会：小林 静子 感話：水戸 潔
聖書講話：ルカによる福音書 7章36～50節
「赦されることの少ない者は、愛することも少ない」 永井 徹
- 8月 23日 (日) 集会 (アクト研修交流センター403号室)
司会：相原 夏江 感話：武井 めぐみ
聖書講話：コリント信徒への手紙 I 4章1～21節
「わたしたちは弱いが、あなたがたは強い」 武井 陽一
- 8月 30日 (日) 集会 (アクト研修交流センター403号室)
司会：水戸 潔 感話：榎本 潤
聖書講話：イザヤ書 30章1節～3節
「イザヤ書の中心課題」 平井 国雄

... 通 信 ...

◇日本の曲がり角

今年8月は戦後70年の節目を迎えます。同時にいま日本は大きく戦争のできる国に方向転換しようとしています。昨年7月政府は閣議決定という手段を使って、憲法で認められない「集団的自衛権の行使容認」を決定し、1年後の7月16日これを実際に行えるようにする法案(新安保法案)を衆議院で強行採決し、現在参議院で審議されています。この法案が成立すると、戦後70年間戦争をせずにくる日本が、海外に行って戦争をする国になってしまいます。これが御心にかなった選択であるかどうか、敗戦70年の8月、心を澄まして祈り御声を聞きましょう。

◇敗戦記念日講演会のお知らせ

日 時：8月15日(土) 14時～16時 場 所：浜松市地域情報センター

演 題：「集団的自衛権で日本を滅ぼしてもいいのか」

講 師：半田 滋(東京新聞編集員)

主 催：浜松・憲法九条の会

マルコ福音書10章42～45節

イエスは彼らを呼び寄せて言われた、「あなたがたの知っているとおりに、異邦人の支配者と見られている人々は、その民を治め、また偉い人たちは、その民の上に権力をふるっている。しかし、あなたがたの間では、そうであってはならない。かえって、あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、仕える人となり、あなたがたの間でかしらになりたいと思う者は、すべての人の僕とならねばならない。

人の子がきたのも、仕えられるためではなく、仕えるためであり、また多くの人のあがないとして、自分の命を与えるためである」。